

中国共産党第八次全国代表大会文献集 第一卷（基本文献）

1956年11月

出 版 者 外 文 出 版 社

中 華 人 民 共 和 国

北 京 阜 成 門 外 百 万 莊

落丁・乱丁本はおとりかえいたします

新 書 判 發 賣 中

中国共産党第八回全国代表大会基本文献シリーズ

☆第八回全国代表大会にたいする中国共産党中央委員会の政治報告（劉少奇） * 中国共産党第八回代表大会の政治報告についての決議

☆中国共産党規約 * 党規約改正についての報告（鄧小平）

☆中国共産党第八回全国代表大会の国民経済発展のための第二次五カ年計画（一九五八年——一九六二年）についての提案 * 国民経済発展のための第二次五カ年計画についての提案にかんする報告（周恩来）

中國共產黨第八屆全國代表大會文獻集 全三卷

第二卷 發 言

目 次

鄧穎超	李先念	林伯渠	鄧雲	陳雲	宋任窮	柯慶施	張國華	羅瑞卿	公安部長	董必武	ウランフ	薄一波	彭德懷	朱德
中華全國民主婦人聯合會副主席	國務院副總理、財政部長	中共中央農村工作部部長	中共中央副秘書長	中共中央上海局書記	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長	中共中央副秘書長
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發
言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言

宋慶齡	李維漢	陳毅	胡耀邦	李雪峯	李富春	李富春	蔡暢	譚政	李立三	賴若愚
民主黨派と無黨派民主人士的祝辭	中共新疆ウイグル自治区委員書記	中共中央統戰部部長	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記	中國新民主主義青年團中央委員書記
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發
言	言	言	言	言	言	言	言	言	言	言

中華全國總工會主席
 中共中央工業交通工作部副部長
 中國人民解放軍總政治部副主任
 中共中央婦女工作委員會第一書記
 國務院副總理、國家計委委員主任
 中共中央工業交通工作部部長
 中國新民主主義青年團中央委員書記

第三卷 祝辞・祝電

目次

- ソ同盟共産党代表團長
ミコヤン 同志の挨拶
ポーランド統一労働者党代表團長
オハブ 同志の挨拶
ドイツ社会主義統一党代表團長
ウルブリヒト 同志の挨拶
ルーマニア労働者党代表團長
ゲオルギウ・デジ同志の挨拶
フランス共産党代表團長
デユクロ 同志の挨拶
イタリア共産党代表團長
スコツチマロ 同志の挨拶
チエコスロヴァキア共産党代表團長
コベツキー同志の挨拶
アルバニア労働党代表團長
ホツジヤ 同志の挨拶
モンゴル人民革命党代表團長
ダンバ 同志の挨拶

- ブルガリア共産党代表團長
ユーゴフ 同志の挨拶
ハンガリー動労者党代表團長
カダル 同志の挨拶
インドネシア共産党代表團長
ルクマン 同志の挨拶
日本共産党中央委員会の
メツセージ
インド共産党代表團長
ナムブーデイリパッド
同志の挨拶
朝鮮労働党代表團代表
林海 同志の挨拶
ウエトナム労働者党代表團長
ホアン・グオクヴェト同志の挨拶
ユーゴスラヴィア共産主義者同盟代表團長
ヴェセリノフ 同志の挨拶

アメリカ共産党全国委員
会の祝電

イギリス共産党代表團長

ポリツト同志の挨拶

スペイン共産党代表團長

イバルリ同志の挨拶

ブラジル共産党代表の挨拶

ドイツ共産党代表團長

ライマン同志の挨拶

アルゼンチン共産党代表團長

アルヴァレス同志の挨拶

マライ共産党中央委員会

のメツセージ

ベルギー共産党代表團長

フアン・メルケルケ同志の挨拶

ビルマ共産党中央委員会

のメツセージ

イラン人民党代表團長

ラドマニシエ同志の挨拶

タイ共産党中央委員会の

メツセージ

カナダ労働者進歩党代表團長

モーリス同志の挨拶

フィンランド共産党代表團長

ペシ同志の挨拶

オランダ共産党中央委員

会のメツセージ

オーストラリア共産党代表團長

シヤーカーキー同志の挨拶

シリア・レバノン共産党代表團長

バグダーシエ同志の挨拶

グアテマラ労働党代表朗

読のメツセージ

ノルウェー共産党代表團長

レーフリーン同志の挨拶

チリー共産党代表の挨拶

スウェーデン共産党代表團長

オホマン同志の挨拶

モロッコ共産党代表團長

ヤタ同志の挨拶

トルコ共産党中央委員会

のメツセージ

セイロン共産党代表團長

ヴェイクレマシング同志の挨拶

キニーバ人民社会党代表の挨拶

ネパール共産党代表

シユレスト同志の挨拶

ギリシャ共産党代表團長

ストリンゴス同志の挨拶

オーストリア共産党代表團長

フェールンベルグ同志の挨拶

ポルトガル共産党中央委員会の祝電

スイス労働党代表團長

ヴォーゲ同志の挨拶

コスタリカ人民前衛党代表の挨拶

ニュージーランド共産党代表

スキールトン同志の挨拶

イスラエル共産党代表團長

ヴェイルナー同志の挨拶

チユニシア共産党中央委員会のメツセージ

アルジェリア共産党代表

ブハリ同志の挨拶

メキシコ共産党代表團長

テラザス同志の挨拶

デンマーク共産党代表

ニエルセン同志の挨拶

パラグアイ共産党代表朗読の祝辞

エクアドル共産党代表團長

サードニヤイム同志の挨拶

ボリビア共産党代表朗読の祝辞

ウルグアイ共産党代表團長

スワレス同志の挨拶

アイスランド統一社会党代表團長

グドムンドソン同志の挨拶

ヴェネズエラ共産党中央委員会の祝電

ルクセンブルグ共産党中央委員会の祝電

トリエステ共産党中央委員会の祝電

中国共产党第八次全国代表大会文献集

第一卷

(基本文献)

外文出版社
北京

出版者のことば

中国共産党第八回全国代表大会文献集は、便宜上これを三巻にわけて出版することにした。第一巻には大会の基本文献七篇をおさめ、第二巻には各代表の発言からえらんだ二四篇、民主請党派・無党派の民主人士の祝辞、全国人民代表大会常务委员会副委員長宋慶齡女史の挨拶などをおさめ、第三巻には各国兄弟党の代表がのべた祝辞、大会で読みあげられた各国兄弟党の祝電、メッセージあわせて六一篇をおさめ、ほぼ発言の順序にしたがつて排列した。

目次

中国共産党第八回全国代表大会の開会の辞	毛沢東	七
第八回全国代表大会にたいする中国共産党中央委員会の政治報告	劉少奇	一七
中国共産党第八回全国代表大会の政治報告についての決議		一四
中国共産党規約		一七
党規約改正についての報告	鄧小平	三〇
中国共産党第八回全国代表大会の国民経済発展のための		
第二次五カ年計画（一九五八年——一九六二年）についての提案		三六
国民経済発展のための第二次五カ年計画についての提案にかんする報告	周恩来	三三

中国共産党第八回全国代表大会の開会の辞

(一九五六年九月一五日)

毛
沢
東

同志諸君！

ただいまから中国共産党第八回全国代表大会をひらきます。（全員起立、しばしなりやまぬあらしのような拍手）

わが党の第七回全国代表大会がひらかれて以後のこの十一年間は、全中国でも全世界でも、共産主義と人類解放の事業のために英雄的にたたかい、骨身をおしまず活動し、そのために自分の生命をささげた同志と友人がひじょうに多く、われわれは、これらの人々を永久に記念しなければなりません。（全員起立、默禱）

われわれのこの大会の任務は、第七回大会いらいの経験を総括し、全党を團結させ、團結することのできる国内国外のすべての力と團結して、偉大な社会主義の中国を建設するために奮闘することにあります。（あらしのような拍手）

第七回大会いごの十一年間に、われわれは、土地が廣くて人口の多い、状況の複雑な大国において、ブルジョア民主主義革命をつていにやりとげ、また社会主義革命の決定的な勝利をかちとりました。二つの革命の實踐において、第七回大会からげんざいにいたるまで、党中央委員会の路線はただしいものであり、わが党は政治的に成熟した、偉大なマルクス・レーニン主義の政党であることが証明されました。（あらしのような拍手）わが党は、いま、これまでのどの

時期よりもいつそう團結しており、いつそう堅固になつております。(あらしのような拍手) わが党は、すでに、全国の人民を結集して社会主義の建設をおこなう中心の力となつております。(あらしのような拍手) われわれの各方面の活動は、いずれも大きな成績をあげております。われわれは正しく活動してきましたが、しかし、いくつかのあやまりもおかしました。この大会では、成功の経験とあやまりの経験をふくめて、われわれの活動のなかのおもな経験を総括し、そのうちの有益な経験をひろめ、あやまりの経験からは教訓をくみとるようにしなければなりません。

国内の条件からいえば、われわれが勝利をかちえたのは、労働者階級の指導する労農同盟にたより、また、團結することのできるあらゆる力とひろく團結したからであります。偉大な建設をおこなうために、われわれの前には、きわめて複雑で重大な任務がよこたわつています。われわれには一千万をこえる党員がいますが、しかし、全国の人口のなかでは、やはりごく少数をしめているにすぎません。われわれの各国家機関と各種の社会事業において、多くの仕事は、党外の人びとにたよることになります。われわれにしてみれば、人民大衆にたより、党外の人びとと協力することが不得手だとするならば、仕事をうまくやれるわけではないのであります。われわれがひきつづき全党の團結をつよめてゆくととき、われわれはまた、ひきつづき各民族、民主的諸階級、